

保護者向けいじめ対策広報紙

よりよいかかわりを求めて

一宮市いじめ対策推進委員会
令和2年度 夏号

広報紙「よりよいかかわりを求めて」は、一宮市や各学校で取り組んでいるいじめ対策について、保護者の皆様に知っていただき、力を合わせて安心・安全な学校をつくっていくことをねらいとしています。

教員の指導力向上を目指して、

いじめ等対策主任者会を開催しました

7月10日(金)オンライン会議において、第1回いじめ等対策主任者会を開催しました。教育委員会から、いじめの定義の変遷やいじめの認知についての確認があり、いじめの未然防止・早期発見や校内情報の共有、組織による早期対応等について指導がありました。

次に、本年度の一宮市におけるいじめ対策の活動基本方針に基づき、いじめ対策推進委員会の広報部・調査部・子ども支援部からの年間活動計画を示しました。

今後は、いじめ対策推進委員会が中心となり、市内の小中学校に働きかけていきます。今年度は、次のような活動に重点的に取り組んでいきます。

笑顔で登校できる学級・学校づくりをめざして
～人と人のよりよいかかわりを求めて～



いじめを生まない土壌づくりに努める。

児童生徒の主体的な活動を促し、児童生徒のコミュニケーション技術を向上させ、よりよい人間関係づくりができる力を育てていきます。

いじめ対策の研修会を実施するなど、適切な指導ができるように努めます。



いじめ対策の日常的な対策を強化する。

各学校におけるアンケートや面談の実施、相談箱の設置、いじめの事例検討など、いじめの未然防止・早期発見・早期解決に向けた対策の強化を図ります。

市内いじめ等対策主任者会での研修、いじめ対策の情報交換、事例検討などを通して、各学校のいじめの未然防止・早期発見・早期解決の力を高めていきます。



学校だけでなく、各相談機関もあります。

必要に応じて、ご利用ください。

※別紙、相談窓口一覧参照。



お子さんの様子を観察してください。

1日のはじめに 目と目を合わせて 心と心を合わせて



自分がいじめられていることを知ると親が悲しい思いをするだろうと思って、子どもたちは家族に相談しないことがあります。しかし、つらい気持ちは下の表のように子どもたちの様々なサインとして表れてきます。

- 食欲がなくなる。
- 学校のことや友達のことを話さなくなる。
- 衣服がよごれていたり、けがをして帰ったりすることが多くなる。
- 持ち物がいたんだり、落書きがあつたりする。
- いらいらしたり、おどおどしたり、落ち着きがなくなる。
- 弟や妹、ペットなどをいじめるようになる。
- 学校から帰って友達と遊ぶことが少なくなる。
- 家の金銭を持ち出したり、買い与えたものがなくなったりする。
- 登校時間になると、頭痛や腹痛を訴え、登校をしづる。
- 携帯電話・スマートフォンの着信音をとても気にする。



ご家庭でも参考にしてください。

お互いを大切にする自己表現力を身につける

いちばん近くて分かり合えるはずの家族、ときには近すぎて攻撃的に言い過ぎてしまったり、反対に近いからこそ非主張的に言いたいことが言えなかったりします。ただ、最も長い時間をともに過ごす家族だからこそ、上下関係を作るのではなく対等な立場で、人間関係をうまく構築できるよう、家族で支え合って過ごしていきたいものです。

アサーションとは、相互を尊重しようとする精神で行うコミュニケーションです。自分の考え、希望などを率直に表現し、適切な方法で自己主張することです。

いじめは、自分と相手の両方を大切にしていこうという考えから逸脱した行為と言えます。

◆家族でアサーション練習をいかがですか？◆

① 「自分も大切 相手も大切」

感染症対策のため手洗いに並んでいると、突然〇〇（さん、くん）が自分の前に何も言わずに割り込んできました。さあ！どのように声をかけますか？

攻撃的 「入ってくるなよ！」 **非主張的** 「今 並んでるんだけど・・・」

アサーティブ（相手に配慮した）な表現

「今 私も並んで待っているから、順番に並ぼうよ。」

② 「さわやかさん」（アサーティブな表現）になって話そう

まだ読んでいる途中の本を読んでいると、友達が「その本、貸して」と言った場面の練習
親「面白そうな本読んでいるね。ちょっと貸して。」

子「えっ、嫌だよ。貸さない。」

「さわやかさん」ならなんて言うといいでしょうか？

「さわやかさん」の話し方のコツを確認してみましょう

★相手に、自分の気持ちを素直に言いましょう。

★自分の気持ちとそのわけをきちんと伝えましよう。

(例)「わかったよ。もう少しで読み終わるから、少し待っててくれるかな。」

